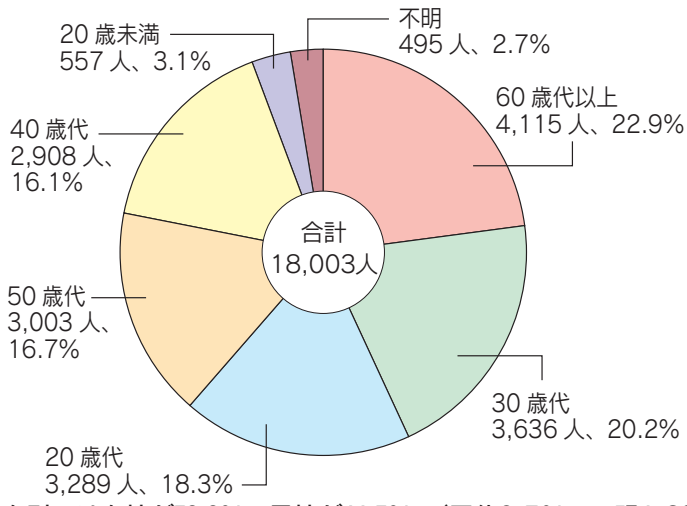


被害者は若者、高齢者 だけではない サラリーマンも狙われている！

悪質商法の被害は、学生から高齢者までさまざまです。年代別の被害について、消費生活相談員に話を聞きました。

消費生活センターに寄せられた 平成18年度契約当事者の年代別相談件数



※男女別では女性が53.8%、男性が44.5%。(団体0.5%、不明1.2%)

その契約、 本当に必要？



高齢者



商品を大量に仕入れたものの思っように売れず、多額の借金と在庫を抱えることに。無理に勧誘することで大切な友人関係を損なってしまうこともあります。

若者



女性に多いのが美顔や痩身などのエステティック(以下エステ)契約の相談です。街角で「アンケートに協力を」などと呼び止めて営業所に連れて行き、長時間にわたり勧誘して契約をさせるものです。

サラリーマン



悪質商法の被害者というと、社会経験の乏しい若者や主婦、高齢者という先入観を抱く人も少なくありませんが、そうではありません。

高齢者は昼間、家にいることが多いため、点検商法など訪問販売の被害に遭いやすくなっています。点検商法とは、「近所で工事をしている。ついでにお宅の屋根の点検もしましょうか」などと言って訪問し、「相当傷んでいる。すぐに工事しましょう」など不安をあおって高額な契約を結ばせるものです。

サラリーマンにとって家は大事な資産。「なんとか守らねば」という思い入れが強いので、そこにつけ込んでくる悪質業者が多いのです。また、女性の場合、呉服の展示会に誘われて高額な着物を無理やり購入させられてしまうといった展示会商法(※8)の被害もありません。

家まで車で送り迎えしたり、断りにくい気持ちにさせられてしまいます。「見るだけ」と言われても、見るだけで済むことはまずありません。誘われても、気軽に出向かないようにしましょう。

サラリーマンも被害に遭っています。社会の第一線で働いていて、社会経験も知識もあるからといって被害に遭わないというわけではないのです。

主婦



主婦の場合は、内職商法。「自宅でする仕事」「素人でも歓迎」などと誘います。試験に合格すれば仕事を紹介するなどという、パソコンや教材を購入させます。しかし、試験になかなか合格できなかったり、仕事をほとんど紹介されなかったりして、購入した商品などのクレジット返済の負担だけが重くのしかかってくるのが実情です。

「簡単なものがある」「簡単なものがある」といって、社会的に第一線で働いていて、社会経験も知識もあるからといって被害に遭わないというわけではないのです。

被害

を防ぐには

悪質商法の手口を知っておくことは、被害を防ぐために役立ちます。消費生活センターの出前講座(3面参照)や啓発資料、インターネットで得られる情報などを活用しましょう。

不当請求に対しては、無視することが基本です。「おかしいな」と思った時、困ったりしたときは必ず家族や友人、消費生活センターに相談してください。

一般的に男性は被害に遭ったことが恥ずかしいため、なかなか相談せず、こじれてから同センターにやってくる人が多いとのこと。

クーリング・オフ制度

訪問販売などで契約したときには一定期間内であれば、無条件で解約できるクーリング・オフという制度があります。

クーリング・オフ期間は訪問販売・電話勧誘販売の場合、契約書を受け取った日を含め8日間、連鎖販売取引(マルチ商法)、業務提供誘引販売(内職、モニター商法)の場合は20日間です。通信販売には適用されませんので、注意してください。

用語集

- ※1 **多重債務**…ローン返済などのため、複数の金融機関から借金を繰り返し、返済困難になること。
- ※2 **キャッチセールス**…街頭でアンケートなどを装い、販売目的を隠して近づき、化粧品やエステサービスの勧誘をする。
- ※3 **デート商法**…異性間の恋愛感情を利用して、宝石や絵画などの購入契約をさせる。
- ※4 **資格商法**…電話で執拗な勧誘をして資格取得のための講座を契約させる。一度契約すると「契約が続いているので終わらせるための契約が必要」などと二次被害に遭うことが多い。
- ※5 **内職商法**…在宅ワークなどで仕事を紹介するように見せかけて、実は仕事に必要なパソコンや教材を販売。
- ※6 **点検商法**…販売目的を隠して、無料点検などを口実に消費者の自宅を訪問し、浄水器や消火器などを売りつける。「水道局の方からきました」などと言って、公共機関を装う場合も。
- ※7 **マルチ商法**…個人を販売員として勧誘し、さらに次の販売員を勧誘させる形で、販売組織を連鎖的に拡大して行う商品などの販売。
- ※8 **展示会商法**…「見るだけでいい」と言って展示場に連れて行き、絵画や着物などを売りつける。

市長 朔日 日記

西新にある西南学院大学の中に子どもプラザがオープンしました。大学が地域に開かれさらに交流が深まるのはとても素晴らしい援軍です。校医の歯医者さんからお聞きした話ですが、子育てがしつかりできていくかどうかは子どもの歯を診れば分かるそうです。毎月1日号に掲載します。

福岡市長
吉田 宏